



奈良県知事

荒井 正吾

「災害は、時を待たず、人を選ばず」と申します。
いつ何時、誰が災難に遭うかを決めるのは、何な

のでしょうか。災難は、自然災害だけでなく、交通事故、放火、傷害事件など縁もゆかりもない人から危害を加えられることもあります。「備えと言ってもどうすればよいのか」思わずつぶやいてしまいそうです。

それでも、備えのある人や家族、地域に災難が降りかかる確率は、低くなっているに違いないと信じたくなります。統計的には明らかにそう言えます。同じ程度の災害でも、備えのある地域とそうでない地域の救命率には、大きな差があります。

それでは、「備え」というのは何なのか。いつも心配ばかりしておくこととは違うようです。隣近所で声を掛け合い、顔見知りの関係が多く深くなるほど、災害の時の救命率、また犯罪の抑止率が高いことがわかっています。

隣の人は今、どうしておられるかと時には思ってみませんか。

『秋深し 隣は何をする人ぞ』

毎月11日は人権を確かめあう日

人権コーナー



いいひ いいひ 11月11日は『介護の日』

県の高齢化率は全国平均より高い30.8%で、65歳以上の人団は40万人を超えていいます。高齢社会では介護に関わる機会は多くなりますが、私は祖父が必要とするまで、介護に無関心でした。

祖父は85歳で亡くなりましたが、80歳を過ぎても、趣味のカラオケ、庭いじりなどで充実した日々を過ごしていました。ところが足を悪くしたことがきっかけで寝たきりとなり、認知症の症状も出てきました。高齢者施設に入居しましたが、余生を家族と一緒に過ごさせてあげたいという母の思いから、在宅介護をすることとなりました。1年ほどで祖父は亡くなりましたが、穏やかな最期だったように思います。

母の姿を見て、介護は、苦労もあるが、今まで社会

を支えてきた高齢者を支えることだと思いました。私は仕事もありほとんど手伝えませんでしたが、かわいがってくれた祖父だけに、なんともいえない悔いが残りました。

介護のニーズは今後さらに高まり、多くの人にとって身近なことになっていきます。「11月11日は『介護の日』」です。私も、介護をテーマにしたイベントや映画などに行き、介護に親しんでいこうと思います。

今月のポスター



五條市立五條小学校 2年
うえおか りこ
上岡 璃心さん



桜井市立桜井中学校 1年
すずき ゆいこ
鈴木 結子さん

*学校名・学年・氏名は受賞時のものです。

クイズ&プレゼント

正解者の中から抽選で

葛城酒造株式会社の
百楽門純米大吟醸
を5名にプレゼント!

締め切りは9月30日(消印有効)



○にあてはまる数字を答えてください。

Q 災害用伝言ダイヤルは何番?

A ○○○

ヒントは
5ページ

7月号の答えは“やまと”でした。応募総数1329件。

ハガキにクイズの答えと、住所、氏名、年齢、電話番号、「県民だより奈良」の感想(良かったコーナー・取り上げてほしい話題・改善点など)を記入して、〒630-8501(住所記入不要)奈良県広報広聴課へ。

※個人情報は、プレゼントの発送以外には使用いたしません。